

\*\*2012 年 6 月改訂（第 7 版）

\*2009 年10月改訂

貯 法

保存条件 遮光，火気を避け，室温保存  
 容 器 気密容器

使用期限 ラベル及び箱に記載

注 意 「取扱い上の注意」の項参照

速乾性すり込み式手指消毒剤

フィンラビング 0.2% 消毒液

0.2% FINRUBBING DISINFECTANT SOLUTION

〈0.2w/v%ベンザルコニウム塩化物・エタノール溶液〉

【禁忌（次の部位には使用しないこと）】

損傷皮膚及び粘膜〔エタノールを含有するので，損傷皮膚及び粘膜への使用により，刺激作用がある。〕

【組成・性状】

1. 組 成

100mL中  
 日本薬局方 濃ベンザルコニウム塩化物液 50 0.38g  
 （ベンザルコニウム塩化物として 0.2g(0.2w/v%））  
 添加物 エタノール  
 N -コイル-<sub>L</sub>-アルギニンエチルエステル DL-  
 ピロリドンカルボン酸塩  
 トリイソオクタン酸グリセリン

2. 製剤の性状

本品はエタノール（日局エタノール 83vol%）を含有する無色澄明の液で，芳香を有する。  
 本品 10mL は水 3mL 以下と混和するが，水の量を増加するとき白濁する。  
 比重  $d_{4}^{20}$ : 0.860 ～ 0.870

【効能・効果】

医療施設における医師，看護師等の医療従事者の手指消毒

【用法・用量】

1. 術前・術後の術者の手指消毒の場合

手指及び前腕部を石鹸で十分洗浄し，水で石鹸分を十分洗い落とし，本剤約 3 mL を手掌にとり，乾燥する迄摩擦し，更にこの本剤による消毒を 2 回繰り返す。

2. 1. 以外の医療従事者の手指消毒の場合

本剤約 3 mL を 1 回手掌にとり，乾燥する迄摩擦する。ただし，血清，膿汁等の有機物が付着している場合は，十分に洗い落とし，本剤による消毒を行う。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1)本剤は希釈せず，原液のまま使用すること。  
 (2)本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。  
 眼に入った場合には，直ちによく水洗すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| 種 類                 | 副作用発現頻度／頻度不明 |
|---------------------|--------------|
| 過 敏 症 <sup>注)</sup> | 紅斑，そう痒感，浮腫等  |
| 皮 膚 <sup>注)</sup>   | 刺激症状         |

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1)投与経路

手指消毒以外の目的には使用しないこと。

(2)使用時

1) 反復使用した場合には，脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので，注意すること。  
 2) 血清・膿汁等の有機物は殺菌作用を減弱させるので，これらが付着している場合は，十分に洗い落とししてから使用すること。  
 3) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので，予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落とししてから使用すること。  
 4) 引火性，爆発性があるため，火気には十分注意すること。  
 5) 本剤で消毒した手指で 2.5kg 以下の低出生体重児を取扱う場合，低出生体重児の皮膚がかぶれることがあるので十分注意すること。

| 日本標準商品分類番号 |
|------------|
| 872619     |

承認番号 21400AMZ00388000  
 薬価基準対象外  
 販売開始 2006 年 1 月

【薬効薬理】

効力を裏付ける試験成績

(1)最小発育阻止濃度（MIC）<sup>(1)</sup>

フィンラビング 0.2%消毒液について，日本化学療法学会標準法（微量液体培地希釈法）を準用し，菌株 6 種を用いて最小発育阻止濃度試験を行った結果，フィンラビング 0.2%消毒液は標準製剤と同等性が認められた。

| 菌 株                                       | MIC (μg/mL) |
|-------------------------------------------|-------------|
| <i>Staphylococcus aureus</i> (ATCC29213)  | 1.95        |
| <i>Escherichia coli</i> (ATCC25922)       | 15.6        |
| <i>Pseudomonas aeruginosa</i> (ATCC27853) | 31.3        |
| <i>Candida albicans</i> (ATCC10231)       | 3.91        |
| <i>Enterococcus faecalis</i> (ATCC29212)  | 3.91        |
| <i>Aspergillus niger</i> (ATCC16404)      | 7.81        |

最小発育阻止濃度は，有効成分の希釈回数，時間，試験日等の試験条件により異なる可能性がある。

(2)殺菌力試験<sup>(2)</sup>

フィンラビング 0.2%消毒液について MTP 法 (Microtitration Plate 法) を準用し，菌株 6 種を用いて殺菌力試験を行った結果，フィンラビング 0.2%消毒液は標準製剤と同等性が認められた。

| 菌 株                                       | 希釈倍数 | 接触時間（分） |     |   |     |
|-------------------------------------------|------|---------|-----|---|-----|
|                                           |      | 0.25    | 0.5 | 1 | 2.5 |
| <i>Staphylococcus aureus</i> (ATCC29213)  | 原液   | －       | －   | － | －   |
|                                           | 2 倍  | －       | －   | － | －   |
| <i>Escherichia coli</i> (ATCC25922)       | 原液   | －       | －   | － | －   |
|                                           | 2 倍  | －       | －   | － | －   |
| <i>Pseudomonas aeruginosa</i> (ATCC27853) | 原液   | －       | －   | － | －   |
|                                           | 2 倍  | －       | －   | － | －   |
| <i>Candida albicans</i> (ATCC10231)       | 原液   | －       | －   | － | －   |
|                                           | 2 倍  | －       | －   | － | －   |
| <i>Enterococcus faecalis</i> (ATCC29212)  | 原液   | －       | －   | － | －   |
|                                           | 2 倍  | －       | －   | － | －   |
| <i>Aspergillus niger</i> (ATCC16404)      | 原液   | －       | －   | － | －   |
|                                           | 2 倍  | ＋       | ＋   | ＋ | ＋   |

(－)：死滅した (＋)：死滅しなかった  
 殺菌力の有効成分濃度は，有効成分の希釈回数，時間，試験日等の試験条件により異なる可能性がある。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ベンザルコニウム塩化物 (Benzalkonium Chloride)  
 性 状：白色～黄白色の粉末又は無色～淡黄色のゼラチン状の小片，ゼリー様の流動体若しくは塊で，特異なおいがある。

水又はエタノール（95）に極めて溶けやすく，ジエチルエーテルにほとんど溶けない。  
 本品の水溶液は振ると強く泡立つ。

示性式：[C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>CH<sub>2</sub>N(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>R]Cl  
 R=C<sub>8</sub>H<sub>17</sub>～C<sub>18</sub>H<sub>37</sub>（主として C<sub>12</sub>H<sub>25</sub> 及び C<sub>14</sub>H<sub>29</sub>）

【取扱い上の注意】

安定性試験<sup>(3)</sup>：

最終包装製品を用いた加速試験（40℃，相対湿度 75%，6 ヶ月）の結果，通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。

アルコール類危険等級Ⅱ水溶性 火気厳禁

**\*【包装】**

500mL(ポリ:ポンプ無, ポンプ付), 1L(ポリ:ポンプ無, ポンプ付),  
5 L(ポリ:コック付)

**【主要文献】**

- \*\* (1) 日医工株式会社 社内資料：最小発育阻止濃度
- \*\* (2) 日医工株式会社 社内資料：殺菌力試験
- \*\* (3) 日医工株式会社 社内資料：安定性試験

**【文献請求先】**

主要文献欄に記載の文献・社内資料は下記にご請求下さい。

日医工株式会社 お客様サポートセンター  
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21  
☎ (0120)517-215 Fax (076)442-8948